

入学者選抜試験問題

国語

実施 令和六年二月十日（土）（1回目）

注意事項

- 一 監督者の合図があるまで問題冊子を開かないでください。
- 二 解答用紙は問題冊子の間にはさんであります。
- 三 試験時間は五十分です。
- 四 解答は、全て解答用紙にHBまたはBの鉛筆（シャープペンシルも可）を使ってマークしてください。解答用紙の「マーク例」「注意事項」を確認すること。正しくマークされていない場合は採点できません。また、答えを直すときにはきれいに消してからマークし直してください。
- 五 解答用紙は、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- 六 問題冊子も回収しますので、受験番号・氏名を記入してください。
- 七 問題は①から④までで、一ページから九ページに印刷してあります。

受験番号（

）

氏名（

）

□ 次の間にそれぞれ答えなさい。

問一 次の①～⑤の一線部の漢字の読み方として最も適切なものを、後の1～4の中から一つずつ選び、番号を答えなさい。

解答番号は①～⑤。

①指紋を照合する。①

- 1 しぶん
- 2 しもん
- 3 みぶん
- 4 みほん

②まっすぐに伸びた舗道。②

- 1 ろどう
- 2 ほそ道
- 3 しゃどう
- 4 ほどう

③結び目を緩める。③

- 1 し
- 2 あたた
- 3 ゆる
- 4 かた

④日々を漫然と過ごす。④

- 1 まんぜん
- 2 ぼうぜん
- 3 ぼうばく
- 4 さつぱつ

⑤軽妙な語り口。⑤

- 1 けいけい
- 2 けいみよう
- 3 けいかい
- 4 きみよう

問二 次の①～⑤の一線部のカタカナを漢字に表したとき、その

漢字と同じ漢字を含むものを、後の1～4の中から一つずつ選び、番号を答えなさい。解答番号は⑥～⑩。

①ボンチの夏は暑い。⑥

- 1 ラシンバンに従う。
- 2 ハクバンに字を書く。
- 3 ボンヨウな考え。
- 4 覆水ボンに返らず。

②春のイブキが感じられる。⑦

- 1 イキモノを大切にする。
- 2 スイソウガクを学ぶ。
- 3 ムスコと出かける。
- 4 イセ半島を旅行する。

③蚊取りセンコウを置く。⑧

- 1 法事でシヨウコウを行う。
- 2 ゲンコウを用意する。
- 3 権力にゲイゴウする。
- 4 タンコウを見学する。

④ツブぞろいの選手。⑨

- 1 寺をコンリユウする。
- 2 コクモツを育てる。
- 3 ナガれが早まる。
- 4 細かいリユウシ。

⑤バンライの拍手を受ける。⑩

- 1 ライレキを語る。
- 2 神をライサンする。
- 3 イライを受ける。
- 4 付和ライドウな態度。

三 次の間にそれぞれ答えなさい。

問一 次の文章の一線部A～Cの品詞の組み合わせとして正しいものを、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は11。

男は椅子から、すっくと立ち上がった。

- | | | | | | | |
|---|---|-----|---|----|---|-----|
| 1 | A | 代名詞 | B | 副詞 | C | 助動詞 |
| 2 | A | 代名詞 | B | 副詞 | C | 連体詞 |
| 3 | A | 名詞 | B | 助詞 | C | 連体詞 |
| 4 | A | 名詞 | B | 助詞 | C | 副詞 |

問二 「来る」の活用の種類を、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は12。

- | | | | |
|---|---------|---|--------|
| 1 | ラ行下一段活用 | 2 | ラ行五段活用 |
| 3 | カ行上一段活用 | 4 | カ行変格活用 |

問三 「言動が嫌味で我慢できない」という意味のことわざを、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は13。

- | | | | |
|---|---------|---|---------|
| 1 | 目に物を見せる | 2 | 鼻持ちならない |
| 3 | 口火を切る | 4 | 歯に衣着せぬ |

問四 「就寝」の対義語と同じ漢字を含む熟語の組み合わせとして正しいものを、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号14。

- | | | | |
|---|-------|---|-------|
| 1 | 自立・寝室 | 2 | 規律・性分 |
| 3 | 苗床・起点 | 4 | 枕木・上昇 |

問五 「洋画」のように、前の漢字が後の漢字を修飾している熟語を、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は15。

- | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|
| 1 | 執筆 | 2 | 即断 | 3 | 脱色 | 4 | 添加 |
|---|----|---|----|---|----|---|----|

問六 尊敬語を、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は16。

- | | | | | | | | |
|---|----|---|------|---|-------|---|----|
| 1 | 参る | 2 | 拝見する | 3 | ご覧になる | 4 | 何う |
|---|----|---|------|---|-------|---|----|

問七 兼好法師の作と言われる鎌倉時代に成立した随筆の冒頭として正しいものを、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は17。

- | | | | |
|---|-------------|---|-------|
| 1 | つれづれなるままに | 2 | ちはやぶる |
| 3 | いづれのおほんときにか | 4 | 祇園精舎の |

問八 宮沢賢治の作品を、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は18。

- | | | | |
|---|--------|---|-----------|
| 1 | 『やまなし』 | 2 | 『みだれ髪』 |
| 3 | 『高瀬舟』 | 4 | 『我輩は猫である』 |

③ 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

《あらすじ》

画家である「私」は、副業でポスター制作の仕事も請け負っていた。ある日、「私」のもとを訪れた「学生」にポスターの制作を依頼された。

約束の日、学生がやって来た。もうだいたいは出来ているのだが、まだ完成はしていない。あちこちに最後の仕上げの仕事が少しずつ残っている。

学生はまた机の向い側に坐った。(略)

学生はざっと出来上った原画を見て、

「あ、凄いですね」

と言っている。いきなりポルトなので驚いたのかもしれない。

「なるほど……」

とつけ足している。たぶん理解したのだろう。

「あとちょっとだけ、仕上げが……」

と私は言った。

「はい。待たせてもらいます」

ところが仕上げのペンを走らせるうちに、そこでまた新しい手法を見つけたりして、その手法をほかの全部のポルト絵にも施したりして、けっこう時間がかかり、昼になった。

「あの……」

と学生が言う。

「え？」

「いや、ちょっと、弁当食わしてもらっていいですか」

「え？」

「いや昼になったので、ここでちょっと弁当食わしてもらっていいですか」

「ああ……」

何だと思ったら、学生は出歩くのに弁当を持って来ているらしい。シヨルダーバッグから弁当の包みをのぞかせている。

「ああ、どうぞどうぞ。じゃあちょっとお茶を入れて来ましょう」

私はペンを置いて立ち上った。学生は、

「すみません」

と言っている。お湯を沸し、急須に番茶を入れて、弁当を食べるならお茶もたくさんいるだろうと、近所の寿司屋でもらった大きな湯呑みになみなみと注いで、自分のと二つ持って行った。学生はもう弁当を食べはじめている。(略) 見るとそれが、深いアルミの弁当箱にぎっしりと飯が詰まっている。正調である。最近では絶えて久しく見かけなかった光景である。

(うーん……)

私は内心で唸ってしまった。その学生を見直した。がっちりとして飾りけのない風体が本当に高倉健に見えてきた。ポスターを引受けてよかったと思った。ジャンパーを着た学生が、子供のころ見上げた兵隊さんに思えてしまった。寿司屋の湯呑みを二つ持ったまま、そんなことを考えていた。湯呑みを一つ学生の前に置いて、あと、自分の湯呑みの置き場所がない。ポスター用の紙が大きいのだ。そばに置いてこぼしては大変である。仕方なく学生の湯呑みの横に並べて置いた。

「あ、すみません」

と学生は飯を頬張りながら頭を下げている。並んだ湯呑みをちょっと怪訝な顔で眺めたりしている。

「いやいや」

ポスターは墨入れを全部終り、急ぐのでドライヤーで乾かした。トレーシングペーパーを上にかけて、青鉛筆でポルトのアウトラインを上からなぞり、印刷用の色指定にかかった。サツマ揚げの匂いがする。タクアンの匂いもする。ムシャムシャと学生の口の音がする。うまそうである。私は声をかけた。

「ちょっとすみませんが、食事中……」

「はい？」

「そっちの左側の二番目の引出しに色見本帳があるので……」
学生は箸を置いて引出しを開けた。

「これですか？」

「それそれ、すみませんね」

今度は椎茸の煮物の匂いがブーンとした。これは相当うまそうである。学生はときどき箸を置いて、出されたお茶を呑んでいる。私は色見本帳をパラパラとめくった。いくつもの色が虹の束のように、手もとからふわりと伸びる。細長い色紙が三百枚ほど通り過ぎる。色紙には小さく切取るミシン目がいくつか付いている。以前出版社の人にももらったものだ。その一冊を丁寧に使いつづけている。だけど自分の色の使い方にクセがあるのか、特定の色ばかりが減っている。鮮やかな原色のところがたくさん齷られたみたいになっている。赤、黄、青、茶、緑、紫、中でも朱色のところがいちばん齷られている。そのころは印刷が二色というとき、黒い線でペンを描いたあとには必ず必ずこのギンギラの朱色を指定していた。印刷所では金赤という。原色の朱色である。赤の中の、特に朱色である。正式の赤というのは意外に固く冷えた色だ。そこにほんの少し黄色味を含んだ朱色というのがいちばん強く感じる。たまにはほかの色にしようとしても、どうしてもそれを選んでしまう。朱色のエネルギーがほしいのである。東洋インクの記号でいうとCFの5番と6番、それからCFの71番や72番もそれに近い。そのあたりが軒並み切られて短かくなっている。みんな私が使ったのだ。もう残りは少ない。今度のこのポスターは別の色にしようと思ったけれど、やはりとっておきのCF5番をち切ってしまった。ミシン目はあともう一つしかない。その貴重な、まるで火のような朱色の紙切れをトレーシングペーパーの上に貼りつけて、作業は終わった。

やれやれとお茶に手を伸ばそうとして見ると、学生の弁当もだいたい終りに近づいている。最後の二口ぐらいを残して学生がお茶を飲んでいく。見るとそれがHである。というより二つ目のお茶

なのである。学生は一つ目の湯香みを呑み干して、二つ目の湯香みにかかっているのだ。

(ありや……)

と内心呟いたまま、私は出しかけた指先のおさまりがつかずに、意味もなくトレーシングペーパーの上をなでてしまった。たぶん考えが食い違ったのだ。置き場所がなくて私の分のお茶も学生の前に置いたのだけど、それがはからずも学生に出したお茶と二つ並んでしまった。学生はお茶を二杯出されたと思ったのだ。出されたものは呑まなければいけない。

(うーん……)

私は苦笑してしまった。いままでお客さんにお茶のお替りは何度も出したが、お茶を二杯並べて出したことは、一度もない。

学生は弁当箱の最後を口にかき込んだ。

「いや、すみませんです」

二杯目のお茶の最後も、喉をぐっと上に伸して呑み込んだ。

「どうも、ご馳走さんでした」

弁当は自分で持って来たものなのに、「ご馳走さん」と頭を下げるのが妙だった。つまり学生はIとJに礼を言ったのだらう。これはいよいよ高倉健だ。

(赤瀬川原平『レンズの下の聖徳太子』幻戯書房より)

注1 正調 正しい調子。

注2 風体 身なり。姿。

注3 高倉健 日本の俳優・歌手。

注4 怪訝 不思議で納得がいかないこと。

注5 色見本帳 印刷等を行う際、近づけてほしい色の見本をとじた冊子。色には番号が振られている。印刷される色は機械や紙によって同じ色でも変わってしまうが、色見本を付けることで、見本に近い色を出力できる。

問一 一線部A・B「ええ？」とあるが、それぞれの意図について次のように説明した。説明として最も適切なものを、次の中から選び番号で答えなさい。解答番号は19。

- 1 Aは不意に話しかけられたことへの驚きによる言葉であり、Bは「学生」の無遠慮な言葉への怒りによるものである。
- 2 Aは「学生」の呼びかけに対する返事であり、Bは「学生」の言葉の意味がわからず聞き返したものである。
- 3 Aは作業中に話しかけられた不快さを表した言葉であり、Bは「学生」の言葉にあきれて出たものである。
- 4 AとBのどちらも、「私」が「学生」の声が明確に聞こえなかったことから来る困惑により出た言葉である。

問二 一線部C「並んだ湯呑みをちよっと怪訝な顔で眺めたりしている」とあるが、「学生」が「怪訝な顔」をしたのはなぜか。理由として最も適切なものを、次の中から選び番号で答えなさい。解答番号は20。

- 1 弁当を食べようとする自分を気遣い、茶を入れて戻ってきた「私」が、自分に対しお茶を二杯出したから。
- 2 なんの断りもなく居座っている自分に対して、「私」が親切にする理由が全くわからなかったから。
- 3 ポスター画家として仕事をしている「私」が、寿司屋で出されるような湯飲みを持っていたから。
- 4 机の反対側に座っているにも関わらず、「私」が自分のお茶を学生の湯飲みと並べて置いたから。

問三 一線部D「ブーン」に用いられている表現技法を、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は21。

- 1 直喩
- 2 隠喩
- 3 擬人法
- 4 擬態語

問四 一線部E「中でも朱色のところがいちばん留られている」とあるが、ここからどのようなことがわかるか。説明した次の文章の(Ⅰ)・(Ⅱ)に当てはまる内容を、次の語群Ⅰ、Ⅱの中からそれぞれ一つずつ選び番号で答えなさい。解答番号は22・23。

「私」が(Ⅰ)を(Ⅱ)のこと。

語群Ⅰ 22
1 赤色 2 朱色 3 色見本 4 番号

語群Ⅱ 23
1 使うのを避けている 2 使い切りたがっている
3 使えないと思っている 4 最も使っている

問五 一線部F「それ」の指す内容を、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は24。

- 1 原色の朱色 2 正式の赤
- 3 朱色のエネルギー 4 東洋インク

問六 一線部G「軒並み」の意味として正しいものを、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は25。

- 1 どれも 2 様々に 3 普通に 4 少しずつ

問七 H に当てはまる言葉を、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は 26。

- 1 お茶のお替り 2 出されたお茶
3 私の分のお茶 4 番茶

問八 I ・ J に当てはまる言葉の組み合わせを、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は 27。

- | | | | | | |
|---|----------------------------|-------|---|----------------------------|-------|
| 1 | <input type="checkbox"/> I | ポスター | ・ | <input type="checkbox"/> J | 二杯のお茶 |
| 2 | <input type="checkbox"/> I | ポスター | ・ | <input type="checkbox"/> J | 畳の場所 |
| 3 | <input type="checkbox"/> I | 二杯のお茶 | ・ | <input type="checkbox"/> J | 畳の場所 |
| 4 | <input type="checkbox"/> I | 弁当 | ・ | <input type="checkbox"/> J | 二杯のお茶 |

問九 本文の内容として正しいものを、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は 28。

- 1 「私」はポスターを完成できず焦りを感じていたが、「学生」が原画をほめたことに安心し、作業を再開した。
2 「私」は「学生」から感じられる質実剛健なありさまに感激し、幼いころに出会った兵隊のことを思い出した。
3 「私」は久しく見ることがないであろうほど手の込んだ弁当に心を奪われ、思わず「学生」に声をかけた。
4 「私」は人にもらった色見本帳を丁寧に使っているため、色の減り方にかたよりの出たのは不本意だった。

四 次の文章を読み、後の間に答えなさい。

A

① オオバコは、柔らかさと硬さを併せ持っていて、踏まれに強い構造をしている。

② しかし、オオバコのすこいところは、踏まれに対して強いというだけではない。

③ オオバコの種子は、雨などの水に濡れるとゼリー状の粘着液を出して膨張する。 C

④ よく、道に沿ってどこまでもオオバコが生えているようすを見かけるが、それは、種子が車のタイヤなどについて広がっているからなのだ。

⑤ こうなると、オオバコにとって踏まれることは、耐えることでも、克服すべきことでもない。もはや踏まれないと困るくらいまでに、踏まれることを利用しているのである。

⑥ 「逆境をプラスに変える」というと、「物事を良い方向に考えよう」という D シンキングを思い出す人もいるかも知れない。

⑦ しかし、雑草の戦略は、そんな気休めのものではない。もっと E 的に、逆境を利用して成功するのである。

⑧ F 雑草が生えるような場所は、草刈りされたり、耕されたりする。ふつうに考えれば、草刈りや耕起は、植物にとっては生存を危ぶまれるような大事件である。しかし、雑草は違う。草刈りや耕起をして、茎がちぎれちぎれに切断されてしまうと、ちぎれた

断片の一つ一つが根を出し、新たな芽を出して再生する。つまり、ちぎれちぎれになったことによって、雑草は増えてしまうのである。

⑨ また、きれいに草むしりをしたつもりでも、しばらくすると、 注一 齊に雑草が芽を出してくることもある。じつは、地面の下には、膨大な雑草の種子が芽を出すチャンスを伺っている。一般に種子は、

暗いところで発芽をする性質を持っているものが多いが、雑草の種

子は光が当たると芽を出すものが多い。

⑩草むしりをして、土がひっくり返されると、土の中に光が差し込む。光が当たるといことは、ライバルとなる他の雑草が取り除かれたという合図でもある。そのため、地面の下の雑草の種子は、チャンス到来とばかりに我先にと芽を出し始めるのである。

⑪こうして、きれいに草取りをしたと思っても、それを合図にたくさん雑草の種子が芽を出して、**G**的に雑草が増えてしまうのである。

⑫草刈りや草むしりは、雑草を除去するための作業だから、雑草の生存にとっては逆境だが、雑草はそれを**H**に取って、増殖してしまうのである。何というしつこい存在なのだろう。

I

⑬そんなしつこい雑草をなくす方法など、あるのだろうか。じつは、一つだけ雑草をなくす方法があると言われている。それは、あるうことか「雑草をとらないこと」だという。(a)

⑭雑草は、草刈りや草取りなど逆境によって繁殖する。草取りをやめてしまえば、雑草だけでなく、さまざまな植物が生えてくる。そうになると、競争に弱い雑草は、立つ瀬がない。だんだんと大きな草が生え、やがて、**灌木**が生えてくる。(b)そして、長い年月を経て、**森**となっていくのである。人の手が入らなければ、いわゆる「**遷移**」が起こるのである。競争に弱い雑草は、大型の植物や木々が生い茂る場所では、生存することができない。(c)

⑮本場に雑草は弱くて強い存在であり、また強くて弱い存在なのだ。(d)

⑯**J** 首尾よく雑草はなくなったとしても、そこはうっそう

とした森になってしまうから、畑や庭の雑草をなくす方法としては

K 的ではない。

(稲垣栄洋『植物はなぜ動かないのか』筑摩書房より)

弱くて強い植物のはなし

注1 気休め

その場限りの安心。

注2 耕起

農業において、土を掘り返したり反転させたりして耕すこと。

注3 膨大

非常に多いこと。

注4 灌木

背が低く、幹が発達していない樹木。

注5 遷移

移り変わること。

注6 首尾よく

物事が都合よく運ぶ様子。

問一 この文章全体の段落構造として最も適切なものを、次の中から
選び番号で答えなさい。解答番号は29。

- 1 ①—②③④⑤—⑥⑦⑧—⑨⑩⑪—⑫—⑬⑭⑮—⑯
- 2 ①—②③④⑤—⑥⑦⑧—⑨⑩⑪⑫—⑬⑭⑮⑯
- 3 ①②③④⑤—⑥⑦⑧—⑨⑩⑪⑫—⑬⑭⑮⑯
- 4 ①②③④⑤—⑥⑦⑧⑨⑩⑪—⑫⑬—⑭⑮—⑯

問二 から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は30。

- 1 A 雑草の戦略
- I 逆境をプラスに変える
- A 雑草の生き方
- I 雑草をなくす方法
- A 逆境をプラスに変える
- I 雑草をなくす方法
- A 弱くて強い存在
- I 雑草の戦略

問三 一線部B「オオバコのスゴいところは、踏まれに対して強い
というだけではない」とあるが、他にどのようなところが「ス
ゴい」のか。最も適切なものを、次の中から選び番号で答え
なさい。解答番号は31。

- 1 根や茎は柔らかいが、種子は自動車にひかれても簡単に割れ
ないほどに硬く、その場で芽吹くことができる。
- 2 雑草をなくすために行われる草刈りや耕起によってばらばら
にちぎられた場合にも、葉から芽を出せる。
- 3 人や動物、車のタイヤ等に踏まれることを利用し、もともと
生えていた場所より遠くに種子を運ぶことができる。
- 4 暗所で発芽するのではなく、土がひっくり返され、埋まってい
た場所に光が差し込んだタイミングで発芽する。

問四 C には次の四つの文章が入る。入る順番を答えたもの
を、後から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は32。

ア これは、足の裏で運ぶという意味である。
イ そして、人間の靴や動物の足にくっついて、種子が運ば
れるようになっているのである。
ウ オオバコの学名は *Plantago*。
エ タンポポが風に乗せて種子を運ぶように、オオバコは踏
れることで、種子を運ぶのである。

- 1 ア→ウ→イ→エ
- 2 ウ→ア→エ→イ
- 3 エ→イ→ウ→ア
- 4 イ→ウ→ア→エ

問五 D に当てはまる言葉を、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は 33。

- 1 ポジティブ 2 ネガティブ
3 アクティブ 4 イニシアチブ

問六 E ・ G ・ K に当てはまる言葉の組み合わせを、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は 34。

- | | | | | | | | | |
|---|----------------------------|----|---|----------------------------|----|---|----------------------------|----|
| 4 | <input type="checkbox"/> E | 客観 | ・ | <input type="checkbox"/> G | 全体 | ・ | <input type="checkbox"/> K | 抽象 |
| 3 | <input type="checkbox"/> E | 現実 | ・ | <input type="checkbox"/> G | 具体 | ・ | <input type="checkbox"/> K | 理想 |
| 2 | <input type="checkbox"/> E | 具体 | ・ | <input type="checkbox"/> G | 結果 | ・ | <input type="checkbox"/> K | 現実 |
| 1 | <input type="checkbox"/> E | 総合 | ・ | <input type="checkbox"/> G | 現実 | ・ | <input type="checkbox"/> K | 積極 |

問七 F ・ J に当てはまる言葉の組み合わせを、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は 35。

- | | | | | | |
|---|----------------------------|------|---|----------------------------|------|
| 4 | <input type="checkbox"/> F | また | ・ | <input type="checkbox"/> J | とはいえ |
| 3 | <input type="checkbox"/> F | 一方 | ・ | <input type="checkbox"/> J | そして |
| 2 | <input type="checkbox"/> F | たとえば | ・ | <input type="checkbox"/> J | もっとも |
| 1 | <input type="checkbox"/> F | つまり | ・ | <input type="checkbox"/> J | しかし |

問八 H に当てはまる言葉を、次の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は 36。

- 1 反対 2 成功 3 利用 4 逆手

問九 次の文章は本文の (a) ～ (d) のどこに入るか。当てはまる箇所を、後から一つ選び番号で答えなさい。解答番号は 37。

そして、ついに雑草はなくなってしまふのである。

- 1 (a) 2 (b) 3 (c) 4 (d)